

2020年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月14日
東

上場会社名 SFPホールディングス株式会社 上場取引所
 コード番号 3198 URL <http://www.sfpdining.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 坂本 聡 (TEL) 044-750-7154
 四半期報告書提出予定日 2020年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第3四半期の連結業績 (2019年3月1日～2019年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第3四半期	29,679	6.5	1,821	△4.7	2,102	△2.4	1,188	△8.1
2019年2月期第3四半期	27,856	2.2	1,911	△18.9	2,154	△17.3	1,293	△35.0

(注) 包括利益 2020年2月期第3四半期 1,193百万円(△7.6%) 2019年2月期第3四半期 1,292百万円(△35.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第3四半期	46.15	46.09
2019年2月期第3四半期	50.00	49.90

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第3四半期	22,406	16,105	71.9
2019年2月期	22,585	15,566	68.9

(参考) 自己資本 2020年2月期第3四半期 16,105百万円 2019年2月期 15,566百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2020年2月期	—	13.00	—	—	—
2020年2月期(予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年2月期の連結業績予想 (2019年3月1日～2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	6.0	2,700	△7.1	3,000	△6.9	1,800	△7.9	69.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年2月期3Q	25,774,689株	2019年2月期	25,729,689株
② 期末自己株式数	2020年2月期3Q	161株	2019年2月期	83株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年2月期3Q	25,745,159株	2019年2月期3Q	25,871,465株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善を背景として緩やかな回復基調が続いたものの、米中通商問題の影響による中国景気の鈍化、欧州における政治・経済の不安定化などを受けて世界経済の減退が懸念されるほか、日韓関係や香港の治安情勢の悪化もあって、先行きは不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、10月に発生した大型台風の影響で、同月すべての業態で売上が前年を下回ったものの、その他の期間については前年を上回り概ね堅調に推移しております。当社グループが主として展開する居酒屋業態につきましては、労働力不足を受けた人件費の上昇、軽減税率の対象となる持帰り商品をめぐる他業態との顧客獲得競争の激化等により依然として厳しい状況にあり、当第3四半期連結累計期間は各月ともに売上が前年を下回って推移いたしました。

このような状況の中で当社グループは、ビジョンである「日本を豊かにする『食』の専門店集団を目指す」に基づき、専門性へのこだわりとお客様満足度のさらなる向上を追求しつつ、新しい戦略である「SFPフードアライアンス構想」の展開を積極的に進めてまいりました。

鳥良事業部門においては、「鳥良商店」を「いち五郎」からの業態転換により1店舗出店いたしました。一方で、「鳥良」を1店舗、「鳥良商店」を2店舗退店し、当第3四半期連結会計期間末現在の店舗数は73店舗となりました。その結果、鳥良事業部門における当第3四半期連結累計期間の売上高は7,689百万円（前年同期比2.7%減）となりました。

磯丸事業部門においては、「磯丸水産」の既存店11店舗の改装を進めるとともに、「磯丸水産」を5店舗出店したほか、福岡県にフランチャイズ店を1店舗出店いたしました。一方で、「磯丸水産」を3店舗退店いたしました。その結果、当第3四半期連結会計期間末現在の店舗数は直営123店舗、フランチャイズ11店舗となり、磯丸事業部門における当第3四半期連結累計期間の売上高は17,114百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

その他部門においては、「いち五郎食堂」から「五の五」へ1店舗、「いち五郎」から「鳥良商店」へ1店舗を業態転換したほか、「いち五郎」を1店舗退店し、当第3四半期連結会計期間末現在の店舗数は31店舗となりました。その結果、その他部門における当第3四半期連結累計期間の売上高は3,529百万円（前年同期比8.2%増）となりました。

フードアライアンスメンバー（連結子会社）においては、株式会社ジョー・スマイルが「前川水軍」等の19店舗の運営に継続して取り組むとともに、「山賊前川」から「前川水軍」へ1店舗、「前川開拓団」と「前川水軍」各1店舗を「鳥の海とん」へ業態転換いたしました。また、株式会社クルークダイニングが「からあげセンター」等の21店舗（うち、フランチャイズ店が2店舗）の運営に継続して取り組むとともに、「長野といえば、パニクカイカン」を1店舗出店いたしました。一方で、「いいやま食事処あたご亭」と「豚のさんぼ」を各1店舗退店いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,345百万円となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間において、店舗の減損損失245百万円を計上しております。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の総店舗数は直営265店舗、フランチャイズ13店舗となり、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は29,679百万円（前年同期比6.5%増）となりました。この間、出店及び業態転換にかかる費用が減少したものの、10月の大型台風による影響や事業拡大に伴う新規オフィスの開設もあって、営業利益は1,821百万円（前年同期比4.7%減）、経常利益は2,102百万円（前年同期比2.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,188百万円（前年同期比8.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ178百万円減少し、22,406百万円となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1,298百万円減少し、8,002百万円となりました。これは主に、売掛金が470百万円増加した一方で、現金及び預金が1,831百万円減少したことによるものです。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1,119百万円増加し、14,404百万円となりました。これは主に、無形固定資産が1,034百万円、投資その他の資産が183百万円増加したことによるものです。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ1,298百万円減少し、4,732百万円となりました。これは主に、買掛金が240百万円増加した一方で、短期借入金が990百万円、未払法人税等が474百万円減少したことによるものです。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ580百万円増加し、1,568百万円となりました。これは主に、長期借入金が204百万円、資産除去債務が135百万円、その他固定負債が148百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ539百万円増加し、16,105百万円となりました。これは主に、利益剰余金が518百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年10月11日に発表いたしました「2020年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載しております予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,204,432	6,373,298
売掛金	356,053	826,557
原材料及び貯蔵品	124,386	146,299
その他	616,103	656,245
流動資産合計	9,300,976	8,002,401
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,731,492	11,607,287
減価償却累計額	△4,295,162	△5,149,659
建物及び構築物（純額）	6,436,329	6,457,627
土地	—	19,148
建設仮勘定	8,577	1,065
その他	2,901,618	3,115,347
減価償却累計額	△1,905,591	△2,250,657
その他（純額）	996,027	864,689
有形固定資産合計	7,440,934	7,342,532
無形固定資産		
のれん	1,116,599	2,137,389
その他	20,065	33,880
無形固定資産合計	1,136,665	2,171,269
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,935,868	4,133,999
その他	779,673	765,201
貸倒引当金	△8,500	△8,500
投資その他の資産合計	4,707,041	4,890,701
固定資産合計	13,284,641	14,404,503
資産合計	22,585,617	22,406,905

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	908,422	1,149,419
短期借入金	1,000,000	10,000
1年内償還予定の社債	—	6,000
1年内返済予定の長期借入金	10,000	79,840
未払法人税等	630,618	155,681
賞与引当金	488,141	307,327
株主優待引当金	107,668	57,333
店舗閉鎖損失引当金	7,200	17,687
資産除去債務	5,775	40,163
その他	2,873,615	2,909,128
流動負債合計	6,031,442	4,732,582
固定負債		
社債	—	73,000
長期借入金	—	204,102
退職給付に係る負債	207,740	227,014
資産除去債務	554,108	689,837
その他	226,233	374,790
固定負債合計	988,082	1,568,744
負債合計	7,019,525	6,301,326
純資産の部		
株主資本		
資本金	534,840	542,377
資本剰余金	5,890,894	5,898,431
利益剰余金	9,147,918	9,666,681
自己株式	△149	△295
株主資本合計	15,573,502	16,107,195
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△7,410	△1,858
その他の包括利益累計額合計	△7,410	△1,858
非支配株主持分	—	242
純資産合計	15,566,092	16,105,578
負債純資産合計	22,585,617	22,406,905

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年11月30日)
売上高	27,856,488	29,679,470
売上原価	7,943,641	8,670,490
売上総利益	19,912,847	21,008,980
販売費及び一般管理費	18,001,768	19,187,479
営業利益	1,911,078	1,821,501
営業外収益		
協賛金収入	212,006	221,053
保険解約返戻金	—	37,628
その他	54,858	53,988
営業外収益合計	266,864	312,671
営業外費用		
支払利息	242	2,563
支払手数料	4,000	858
不動産賃貸原価	11,625	11,625
その他	7,676	16,430
営業外費用合計	23,543	31,476
経常利益	2,154,399	2,102,695
特別利益		
受取補償金	—	65,543
特別利益合計	—	65,543
特別損失		
減損損失	108,317	245,750
店舗閉鎖損失	8,048	22,915
店舗閉鎖損失引当金繰入額	6,840	17,687
特別損失合計	123,206	286,353
税金等調整前四半期純利益	2,031,193	1,881,885
法人税、住民税及び事業税	614,810	667,087
法人税等調整額	122,864	26,705
法人税等合計	737,675	693,792
四半期純利益	1,293,517	1,188,093
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△28
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,293,517	1,188,121

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年11月30日)
四半期純利益	1,293,517	1,188,093
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△1,061	5,551
その他の包括利益合計	△1,061	5,551
四半期包括利益	1,292,456	1,193,644
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,292,456	1,193,673
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△28

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。